

「白き糸の物語

「天の虫がつなぐ歴史・人・まち」

今からちょうど165年前の安政6(1859)年、日本は鎖国を解き横浜を開港し、欧州諸国や米国との貿易を開始しました。

数ある輸出品目のなかでも生糸は特に莫大な外貨を稼ぎ出し、横浜は開港以来、1923年の関東大震災の発生まで日本における生糸の唯一の輸出港としてたいへんな発展を遂げました。全国各地から集められた生糸は遠い海を渡り莫大な外貨を稼ぎ出し、日本の近代化に大きく貢献したのです。

現在の日本や横浜の姿は、「蚕」というほんの小さな昆虫が懸命に作り出した繭をいただくことから始まり、そしてその繭からより良い糸を取り出すためにおこなわれた技術の開発や、それに従事した人々の熱意や尽力の上にあるといえるでしょう。そうした先人たちによって造られた数多くの建造物は度重なる自然災害や太平洋戦争の戦禍を乗り越え、現在も日本各地に遺されこの「物語」を今に伝えています。

この講座では、映画「シルク時空をこえて」の上映にはじまり、開国から現在に至るまでの日本の近代化、横浜の発展を根底から支えた蚕糸業やその技術の発展、また現在日本の各地に遺る建造物等の遺産群について全3回にわたり深く考察し、理解を深める機会とします。

第1回 令和7年 1月11日(土)

映画「シルク時空をこえて」 上映および解説

朝の学舎制作委員会 監督・撮影 熊谷友幸氏

第2回 令和7年 2月8日(土)

「日本の近代化を支えた製糸業と
それに従事した工女さんたち」

岡谷蚕糸博物館 館長 高林千幸氏

第3回 令和7年 3月15日(土)

「シルクが結ぶまちと文化」

横浜歴史資産調査会 常務理事 米山淳一氏

主催：シルク博物館

会場：シルクセンタービル地下1階 大会議室

時間：第一回は13:30～16:00

第二回、第三回は14:00～16:00

(受付は30分前から開始)

参加費：1,500円(全3回分)

対象：成人(大人の方向けの内容です)

※連続講座のため、全3回すべてに
ご参加いただける場合のみお申込みください。

定員：40名(先着順・定員に達し次第受付終了)

申込方法：お電話にて事前申し込み

申込募集期間：令和6年11月22日(金)～

(お問い合わせ・申込先)

シルク博物館

〒231-0023

横浜市中区山下町1番地

(TEL) 045-641-0841